

来春開館の“愛宕駅西口駅前美術館” ひと足先にバーチャルギャラリーを公開

来年3月末に予定している東武野田線連続立体交差事業における営業線高架切替に合わせ、愛宕駅西口駅前広場の北側部分に歩行者専用道路を整備している。その工事の際に設置するフェンスを利用し、駅前という特性を生かしてギャラリースペースとして活用する。このスペースを「愛宕駅西口駅前美術館」と名付け、野田市の将来を担う小学生が描いた絵画を屋外展示用に加工の上、3月末から展示をしていく。

これにより、東西自由通路を介した人の回遊性の促進が図れるものと考えている。

市は、展示に先立ち、市ホームページで来年3月末に愛宕駅西口駅前美術館に展示する作品をバーチャルギャラリーとして、本日（令和2年12月24日木曜日）から公開を開始した。



◆公開を行っている作品は30作品

主に愛宕駅を利用する小学生に限定（中央、宮崎、東部、清水台、柳沢小学校の5校）。

絵のテーマ、絵画の選考方法については、各学校により決定。

◆展示する絵画は屋外展示用に加工。

展示する絵画は八つ切り画用紙サイズ（380×270）にタイトル、学校名、作者名を入れるスペースを設け、380×300の大きさとなっている。児童が描いた絵をスキャニングし、EBコートパネル（アルミ製）に印刷し、屋外の風雨にも耐えられる素材とする。

問合せ＝愛宕駅周辺地区市街地整備事務所・内線 2721

野 田 市